

## 講座名

【財務】計算 | トレーニング1（総論）

## 設問1「入門期の復習」

## 解答

(単位：円)

	借方科目	金額	貸方科目	金額
3/2	現 金	5,000,000	借 入 金	5,000,000
8	車 両 運 搬 具	3,500,000	現 金	3,500,000
16	現 金	200,000	受 取 手 数 料	200,000
24	給 料	150,000	現 金	150,000
31	借 入 金 支 払 利 息	125,000 15,000	現 金	140,000

## 現金

3/2 借 入 金	5,000,000	3/8 車 両 運 搬 具	3,500,000
16 受 取 手 数 料	200,000	24 給 料	150,000
		31 諸 口	140,000

## 車両運搬具

3/8 現 金	3,500,000		
---------	-----------	--	--

## 借入金

3/31 現 金	125,000	3/2 現 金	5,000,000
----------	---------	---------	-----------

## 受取手数料

		3/16 現 金	200,000
--	--	----------	---------

## 給料

3/24 現 金	150,000		
----------	---------	--	--

支払利息		
3/31	現 金	15,000

**配点：完答で10点**

### 解説

入門期の復習に関する出題です。仕訳と転記の復習問題として出題しました。

仕訳と転記は簿記の基本です。入門期で一度解いている問題ですので、スムーズに解答できたかを確認してください。

勘定への転記は、借方に仕訳したものは借方に、貸方に仕訳したものは貸方に移し替えます。金額のほかに日付（取引日）と仕訳の相手科目を記入します。相手科目が複数のときは複数の勘定口座であることを意味する「諸口」と記入します。

## 講座名

【財務】計算 | トレーニング1 (総論)

## 設問2「入門期の復習」

## 解答

(単位：円)

## 合計残高試算表

XX年XX月XX日

借 方		勘 定 科 目	貸 方	
残 高	合 計		合 計	残 高
( 795,000 )	( 4,850,000 )	現 金	( 4,055,000 )	( )
( 1,200,000 )	( 1,200,000 )	建 物	( )	( )
( 1,800,000 )	( 1,800,000 )	土 地	( )	( )
( 665,000 )	( 700,000 )	貸 付 金	( 35,000 )	( )
( )	( 50,000 )	借 入 金	( 1,500,000 )	( 1,450,000 )
( )	( )	資 本 金	( 2,500,000 )	( 2,500,000 )
( )	( )	受 取 手 数 料	( 800,000 )	( 800,000 )
( )	( )	受 取 利 息	( 15,000 )	( 15,000 )
( 300,000 )	( 300,000 )	給 料	( )	( )
( 5,000 )	( 5,000 )	支 払 利 息	( )	( )
( 4,765,000 )	( 8,905,000 )		( 8,905,000 )	( 4,765,000 )

## 配点：完答で10点

## 解説

(以下、単位：円)

入門期の復習に関する出題です。合計残高試算表の作成問題です。入門期で一度解答している問題ですが、解答数値を埋めるだけでなく、合計試算表と残高試算表の意義も合わせて復習しておきましょう。

合計試算表は各勘定の借方合計金額と貸方合計金額を集計し、該当の箇所に記入します。

現金勘定の借方合計：2,500,000 + 1,500,000 + 800,000 + 50,000 = 4,850,000

現金勘定の貸方合計：1,800,000 + 1,200,000 + 700,000 + 300,000 + 55,000 = 4,055,000

残高試算表は各勘定の残高を集計し、該当の箇所に記入します。

現金勘定の残高：借方合計4,850,000 - 貸方合計4,055,000 = 795,000

貸付金の残高：700,000 - 35,000 = 665,000

借入金の残高：1,500,000 - 50,000 = 1,450,000

## 講座名

【財務】計算 | トレーニング1（総論）

## 設問3「入門期の復習」

## 解答

決算整理後残高試算表

XX年3月31日 (単位：円)

借方	勘定科目	貸方
80,000	現金	
30,000	売掛金	
50,000	繰越商品	
	買掛金	25,000
	資本金	60,000
	繰越利益剰余金	47,000
	売上	360,000
252,000	仕入	
80,000	給料	
492,000		492,000

配点：完答で10点

## 解説

(以下、単位：円)

入門期の復習に関する出題です。決算整理後残高試算表について出題しました。

入門期で一度解答している問題ですが、決算手続きの流れを確認しておきましょう。

決算整理後残高試算表は、決算整理仕訳を反映したあとの各勘定残高を集計した試算表です。貸借対照表や損益計算書の作成にあたっての基礎となります。

なお、決算整理仕訳の影響を受けない勘定は、決算整理前残高試算表の金額と変わりません。

本問の決算整理事項は売上原価の計算のみであり、3分法の決算整理について仕入勘定で売上原価を計算する方法を採用していることが指示されています。

したがって、決算整理仕訳は下記のとおりです。

借方科目	金額	貸方科目	金額
仕入	27,000	繰越商品	27,000
繰越商品	50,000	仕入	50,000

<決算整理後残高試算表の主な勘定の金額算定>

繰越商品：27,000－27,000＋50,000＝50,000

仕入：275,000＋27,000－50,000＝252,000

## 講座名

【財務】計算 | トレーニング1 (総論)

## 設問4「入門期の復習」

## 解答

(単位: 円)

損				益			
3/31	仕	入	252,000	3/31	売	上	330,000
〃	給	料	80,000	〃	受	取	手
〃	繰	越	利	〃	数	料	30,000
		益	28,000				
		剰					
		余	28,000				
		金					
			360,000				360,000
繰越利益剰余金							
3/31	次	期	繰				47,000
		越	75,000	3/31	損	益	28,000
			75,000				75,000
				4/1	前	期	繰
					越		75,000

## 配点: 完答で10点

## 解説

(以下、単位: 円)

入門期の復習に関する出題です。決算振替について出題しました。

入門期で一度解答している問題ですが、決算手続きの流れを確認しておきましょう。

問題の資料として与えられているものは決算整理後残高試算表です。したがって、収益の各勘定および費用の各勘定について、資料に記載されている金額をそのまま使って損益勘定への振り替えを行えばよいことになります。

損益勘定への転記にあたっては、通常の転記とは異なり、「諸口」は用いずに相手科目をすべて記載します。損益勘定の残高は繰越利益剰余金勘定へ振り替えます。

英米式決算法における資産・負債・資本（純資産）の締切りは、仕訳を行わずに貸借差額（残高）を次期繰越として少ない方に記入し貸借を一致させたのち、前期繰越として翌期の帳簿に移し替えることで行います。

なお、決算振替仕訳は下記のとおりです。

- 各収益勘定の残高の損益勘定への振替仕訳

借方科目	金額	貸方科目	金額
売 上	330,000	損 益	360,000
受 取 手 数 料	30,000		

- ・各費用勘定の残高の損益勘定への振替仕訳

借方科目	金額	貸方科目	金額
損 益	332,000	仕 入	252,000
		給 料	80,000

- ・損益勘定の残高（当期純利益）の繰越利益剰余金勘定への振替仕訳

借方科目	金額	貸方科目	金額
損 益	28,000	繰 越 利 益 剰 余 金	28,000

※収益総額360,000－費用総額332,000＝28,000

## 講座名

【財務】計算 | トレーニング1（総論）

## 設問5「入門期の復習」

## 解答

## 損益計算書

XX年4月1日～XX年3月31日

（単位：円）

費用の部	金額	収益の部	金額
売上原価	252,000	売上高	330,000
給料	80,000	受取手数料	30,000
貸倒引当金繰入	300		
減価償却費	10,800		
当期純利益	16,900		
	360,000		360,000

## 貸借対照表

XX年3月31日

（単位：円）

資産の部	内訳	金額	負債・純資産の部	金額
現金		20,000	買掛金	25,000
売掛金	30,000		資本金	60,000
貸倒引当金	900	29,100	繰越利益剰余金	52,500
商品		50,000		
備品	60,000			
減価償却累計額	21,600	38,400		
		137,500		137,500

配点：完答で10点

## 解説

（以下、単位：円）

入門期の復習に関する出題です。財務諸表の作成について出題しました。

損益計算書において、売上勘定は**売上高**，仕入勘定は**売上原価**で表示します。また，貸借差額で当期純利益を算定します。

貸借対照表において、評価勘定である貸倒引当金勘定および減価償却累計額勘定は，それぞれ売掛金および備品の控除科目として資産の部に表示します。また，繰越商品勘定は商品として表示します。

決算整理後残高試算表の繰越利益剰余金勘定は資本振替前の金額ですので、**貸借対照表の繰越利益剰余金は当期純利益の額を加算**した上で表示します。

収益総額：330,000 + 30,000 = 360,000

費用総額：252,000 + 80,000 + 300 + 10,800 = 343,100

当期純利益：収益総額360,000 - 費用総額343,100 = 16,900

繰越利益剰余金：決算整理後残高35,600 + 当期純利益16,900 = 52,500



## 講座名

【財務】計算 | トレーニング1（総論）

## 設問12「割引現在価値」

## 解答

ア

544,650 円

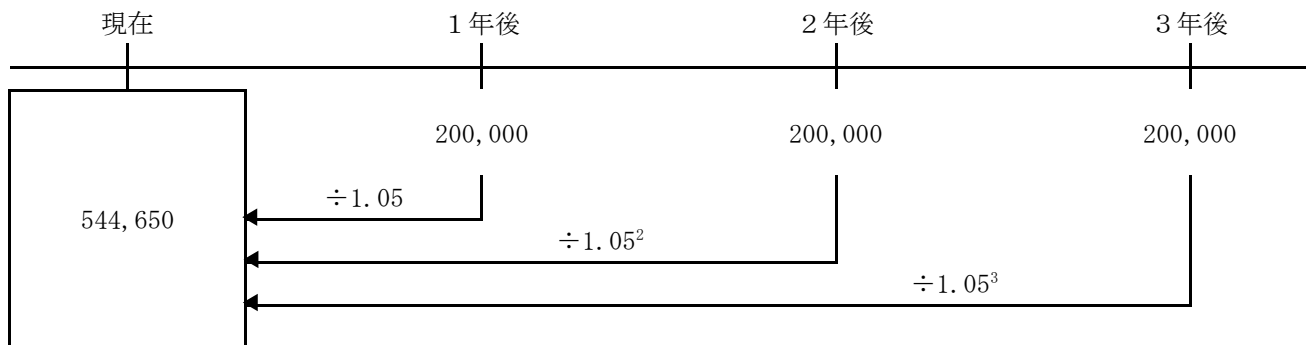
配点：完答で10点

## 解説

（以下、単位：円）

割引現在価値に関する問題です。

$$200,000 \div (1+5\%) + 200,000 \div (1+5\%)^2 + 200,000 \div (1+5\%)^3 \doteq 544,650$$



## 講座名

【財務】計算 | トレーニング1（総論）

## 設問13「割引現在価値」

## 解答

ア

803,801 円

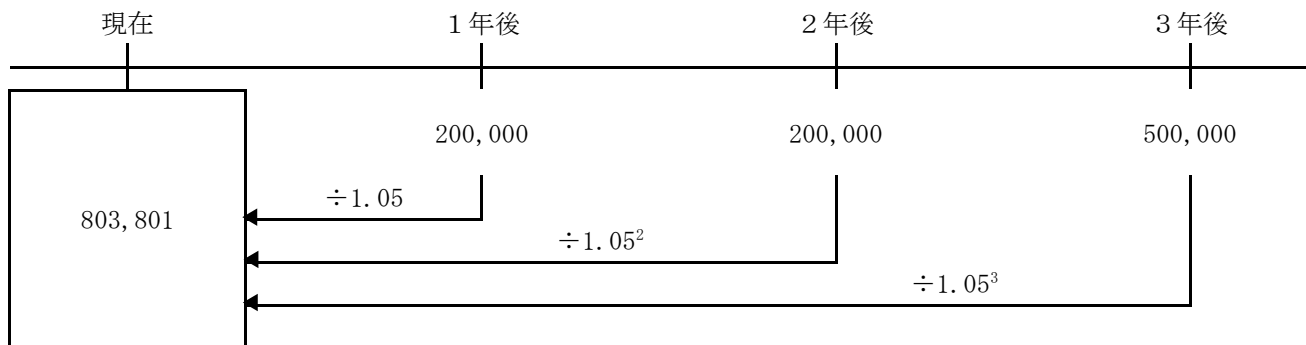
配点：完答で10点

## 解説

（以下、単位：円）

割引現在価値に関する問題です。

$$200,000 \div (1+5\%) + 200,000 \div (1+5\%)^2 + 500,000 \div (1+5\%)^3 \doteq 803,801$$



## 講座名

【財務】計算 | トレーニング1（総論）

## 設問14「割引現在価値」

## 解答

ア

803,780 円

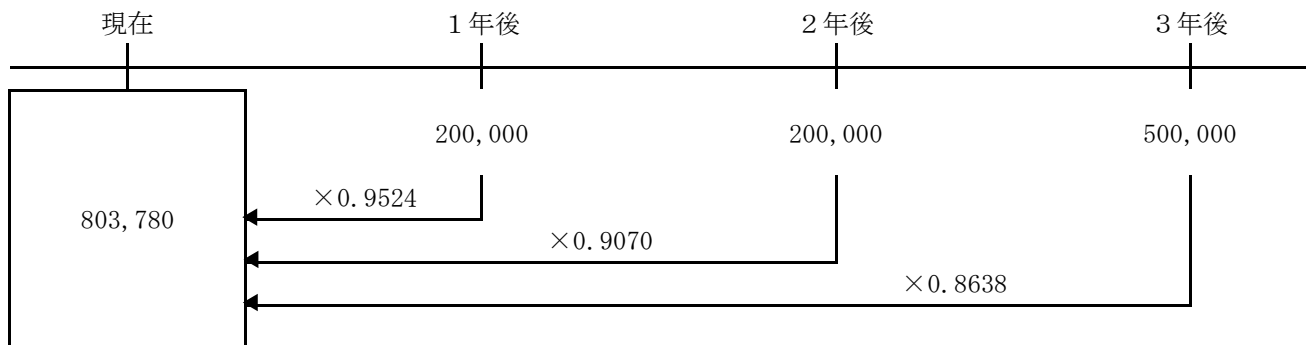
配点：完答で10点

## 解説

（以下、単位：円）

割引現在価値に関する問題です。

$$200,000 \times 0.9524 + 200,000 \times 0.9070 + 500,000 \times 0.8638 = 803,780$$



## 講座名

【財務】計算 | トレーニング1（総論）

## 設問15「割引現在価値」

## 解答

ア

544,640 円

配点：完答で10点

## 解説

（以下、単位：円）

割引現在価値に関する問題です。

$$200,000 \times 2.7232 = 544,640$$

